

産業建設

缶詰出荷

秋まで延期に



産業建設常任委員長
坂本 あや

て復旧が必要となつていました。古い橋であったため設計の調整に時間がかかりました。取り掛かれるようになりまし

●平成27年度一般会計予算

■黒潮印商品認証事業費

正予算
事業実績等に伴う増減額が計上されていきました。

■プレミアム商品券

発行枚数を増やしてきたが、商工会負担額も大きくなつてきたことから、26年度は減額した。来年度は、まち・ひと・しごと創生事業で総発行経費1億3800万円の事業として取り組んでいく予定になっています。

■災害復旧費 4300万円

有井川の法寿院橋が流され



工事中の法寿院橋
(有井川)

■都市環境整備費

8億27万円

国道56号大方改良事業の城山宅地造成や新庁舎建設関連事業、防災広場の建設が行われます。

■スポーツ合宿モニターツアー

30万円

導入ができて環境整備が整えば1万泊を目指したいとのこと。継続して、砂浜美術館に委託されます。

■佐賀地区漁業集落環境整備事業

3628万円

引き続き、急がれる震災対策の避難道や避難広場の整備が行われます。

■佐賀漁港活餌事業補助金

PR費他 77万円

補てん分 1960万円

佐賀漁協で行っているカツオの餌となるイワシの販売をPRする予算や台風などで被害を受けた場合の補填分が組まれています。

■缶詰製作所に貸付金

1千万円

榎良品計画との取引が、秋まで延期となりました。

大量の注文に応えるため人員や機器類の増強が急速に進められてきましたが、そのことが商品トラブルを誘発する可能性が高くなるとの双方の判断から、安定した商品出荷や品質管理が強化されるまで取引を延期し、榎良品計画からの支援を受け、OJT(企業内教育)を行い製造管理能力の強化を行うこととなったそうです。

■スポーツ合宿誘致活動費

30万円

少年サッカーを中心とするスポーツ合宿誘致活動の成果が大きくなっています。

平成26年度 約4700泊

平成27年度目標6000泊

県に要望している人工芝の

上げ減に対応するために、すでに商談を進め、地域内での販売所の募集や販路を拡大しているとのことでした。



店頭に並ぶ缶詰 (ピオス大方)

●水道事業特別会計予算

平成27年度は、佐賀地区の中継地、伊与喜、大方地区の上川口、鞭の上水道の清掃を行う予定です。また、国道56号大方改良事業の進捗に合わせて布設替え事業を進めていくことになっています。